

令和5年度予算に 対する総括質問(要旨)

3月15日、16日、20日
審査委員会
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

田中しゅんすけ

(自民党)

保健所運営体制について問う

問 体制強化の取組状況は。
答 感染症対策課の新設や職員の大規模な増員などにより、業務体制を最適化してきた。5年5月から新型コロナウイルスは5類感染症に位置付けが変更となるが、現行の体制を確保する。

安井一郎

(自民党)

公園遊具の維持改修を問う

問 遊具が完成した場合は、早期に区民に開放すべき。
答 可能な範囲で期間短縮を図れるよう努めるとともに、発注制度の研究・改善に、今後も関心を持って取り組む。
自衛隊との連携について問う
問 大規模災害の発生に備え、顔の見える関係を構築すべき。
答 今後も、普及事業や訓練などには、関係機関として協力を呼び掛け、顔の見える関係を築いていく。

都市農業について問う

問 農業スキル育成講習の修了者である農のサポーターの具体的な活動計画は。
答 収穫体験事業の拡充として、新たにサツマイモやトウモロコシの育成や、学校給食への食品提供の品目のうち、長ネギの生産を依頼したいと考えている。

なんば英一

(公明党)

地域の福祉窓口のあり方について問う

問 地域センターに運営協議会を導入し、地域コミュニティの活性化を図るべき。
答 仕組みを研究し、新たな地域センターの取組みの中で、実現の可能性を探っていく。
出産・子育て応援事業を問う
問 出産・子育て応援事業の取組みが、産婦健診とドゥーラの早期導入につながるよう検討していく。

佐々木としか

(自民党)

都区制度改革と都区間の財源配分について問う

問 教職員の人事権について区へ移譲すべき。
答 特別区教育長会を通じて引き続き、都に要望していく。
大山まちづくりと東武東上線連続立体化促進について問う
問 中板橋駅付近の立体化についても、準備を開始しては。
答 適切な時期を見定めたいと考えていく。
いのちを支える地域づくり計画2025について問う
問 ゲートキーパーの育成について、取組内容は。
答 5年度から出張ゲートキーパー研修を実施する。
空の産業革命・板橋区をドローン物流の先進都市へ問う
問 ドローン物流の飛行幹線航路の実証実験を行うべき。
答 国や都から申し出があれば、協力することを検討する。

大田ひろし

(公明党)

誰一人取り残さない社会をつくるために

問 すべての所管で取り扱うSDGsが企業や区民に浸透するよう取り組むべき。
答 次期基本計画では、取組みをさらに具体化できるように検討していく。
問 誰一人取り残さない仕組みづくりを。
答 現時点では、少子化が進む中において、誰一人取り残さないという基本理念のもと、切れ目のない子育て支援など、若い世代の定住化に全力で取り組むべきと考えている。

平和事業について問う

問 平和都市宣言のまちなかの塔や平和公園に設置すべき。
答 効果的な平和事業の今後の展開を含め、整理していきたいと考えている。
いたばしPayについて問う
問 取扱店舗の拡大に向けて、

山内えり

(共産党)

物価高騰に対する支援を問う

問 区独自で経済的支援や給付金の支給を実施すべき。
答 物価高騰による区民生活や事業者への影響を十分に注視しつつ、必要性を検討する。
高齢者補聴器購入費助成事業の拡充を求めて
問 2万円の上限を引き上げ、対象者を非課税世帯から本人非課税に拡大すべき。
答 事業の効果などを見極めながら検討していく。
介護人材の処遇改善を求めて
問 国に対し、介護人材の処遇改善を求めるべき。
答 処遇改善など、事業者へ

荒川なお

(共産党)

生活支援の充実を求めて

問 食料支援を行う民間団体は人手不足で準備に苦労している。支援の強化を。
答 担い手の確保については、ボランティアセンターの活用を促すなど、団体に情報提供を行い、支援していく。
問 区独自の給付型奨学金の実施を求めるが、見解は。
答 社会福祉協議会及び日本学生支援機構が国を通じて実施しているため、区独自の給付金を検討する予定はない。
問 若者や学生に対し、家賃助成を実施すべき。
答 行財政改革の観点から、

具体的対策は。

問 具体的な対策は。
答 売上上げに対して一定の率をキャッシュバックする店舗還元事業を5年度も実施し、商店街連合会が行う独自事業に対しても、ポイント還元が行えるよう予算計上している。

おばた健太郎

(民主クラブ)

いたばしPayについて問う

問 5年度から導入予定の公共施設予約窓口におけるキャッシュレス決済に、いたばしPayを利用できない理由は。
答 区独自の取組みのため、窓口で配備する決済端末では支払いが行えないなどの課題があり、今導入を見送った。
問 相談室内のテーブルをL字型に配置するなど、相談しやすい環境づくりの検討を。
答 先進事例を参考にするな

中妻しようた

(民主クラブ)

自閉症・情緒障害が特別支援学級の設置を求めて

問 区立学校に自閉症・情緒障害が特別支援学級の設置を。答 一人ひとりの教育的ニーズに着目した特別支援教育を推進していくため、設置を検討していく。
高島平のまちづくりを問う
問 区がプロデューサーの役割、入室しやすい雰囲気窓口づくりに努めていく。

竹内愛

(共産党)

行財政改革による影響を問う

問 改革は区財政に大きな効果をもたらしていないのでは。
答 取組みの着実な実施により大きな効果を上げ、収支均衡型の予算編成を成し得る財政基盤の構築に寄与してきた。
教材費の学校間格差の是正を問う
問 最低額と最高額で1万円近く差がある。負担軽減を。
答 各学校には、教材の必要性などについて説明責任を果たすよう強く働きかけている。
放課後等デイサービスを問う
問 療育環境を整備するにあたり、現状の課題は。
答 需要に対するサービス供給の不足と、療育を要する子どもを家族を支援するための資源の不足などが挙げられる。

井上温子

(無所属)

高島平のまちづくりを問う

問 団地の街区ごとに地域福祉拠点を整備するなど、具体的な取組みを進めるべき。
答 地域住民の多世代交流や多文化共生につながる取組みとなるよう検討していく。

五十嵐やす子

(社民党)

ゼロカーボンいたばし2050を進めるために

問 CO₂排出量実質ゼロに向けて、市民が参加して議論する気候市民会議を実施すべき。
答 他自治体の取組状況や成果を引き続き注視していく。

割を担い、国や都との協議の場を率先してつくるべき。
答 区が主導的な役割を果たす必要があると考えており、各主体と積極的に連携を図る。

南雲由子

(無所属議員)

10年後、20年後に続くまちづくりのあり方を問う

問 再開発事業が完了した後、にぎわいを生む仕掛けは。
答 大山駅周辺地区での実証実験で得られた知見などを他のまちづくりに展開していく。

しいなひろみ

(無所属議員)

子どもの入院に付き添う保護者への支援について問う

問 入院の際、保護者の負担感が大きい現状への支援策は。
答 健康福祉センターの担当保健師が丁寧な話を聞き、サービスの紹介など支援を行う。

こんどう秀人

(無所属議員)

区議・区長選挙の立候補届出関係書類の配布方法を問う

問 前回から変更した点は。
答 手引きに綴っている届出用紙以外は紙の配布をやめ、書式を電子データ化するなどした。

長瀬達也

(無所属議員)

悪質商法などの被害を未然に防ぐために

問 消費者センターと行政書士会、弁護士会などの士業団体が連携して取り組むべき。
答 今後、連携強化の方策を協議したいと考えている。

高山しんご

(無所属議員)

区道の交通安全対策を問う

問 4年12月に若木通りで交通事故が発生した。地域の実状に即して横断歩道の設置を。
答 警察署に照会したところ、交通量や現地の状況などを確認し、検討したいとの意向。